



・区分	B010 ソフト部門
タイトル	一人KY活動
動機・改善前の状況	建設業における労働災害発生件数の80%が作業員による不安全行動及び油断・不注意・横着心等のヒューマンエラーに起因するといわれている。作業員一人ひとりの安全ミーティングに参加しているという意識が低くなりがちである。
改善・実施事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全作業員が作業開始前に当日作業での自分の役割分担を理解し、どんな災害(危険)があるか想像して、災害を防ぐためにどんな手立てがあるかを考える。 2. 結果を危険予知カードに記録するとともに、それを掲示したり、指名された2~3人が発言する。
改善効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業開始前に短時間で一人危険予知活動を実施することで、無理なく作業を見直すことができるようになる。 2. 各人が個人として作業所に対する約束、宣言ができて、一人ひとりの安全に対する自覚を促すことができる。
活動内容 改善事項の図、 写真	 <p>30秒間本日の作業における危険を考える。</p>  <p>指名した作業員による内容の発表。</p>